

第3回草津市総合計画審議会(令和6年7月12日)における 主な意見とその対応について

●○は審議会での意見・対応
→は審議会後の事務局対応

主な意見	対応
(1)リーディング・プロジェクト(案)について【資料2】	
● P.2 未来を担う子ども育成プロジェクトについて、冒頭「全国的に少子化が進行する中」とあるが、少子化がなければ子どもは大切な存在ではないのか。	→ 誤解を招かないよう、御意見を踏まえ、次のように修正しました。
(修正前) 全国的に少子化が進行する中、子どもや若者は一人ひとりが大切な存在であり、	(修正後) 全国的に少子化が進行しており、対策が必要です。 <u>また、子どもや若者は一人ひとりが大切な存在であり、</u>
● 「すべての子どもたちが幸せに成長でき」とあるが、子どもたち自身が幸せになる、幸せだと感じなければならない。	→ 御意見を踏まえ、次のように修正しました。
(修正前) すべての子どもたちが自分らしく <u>幸せに</u> 成長でき、暮らせるように、社会全体で支えていくことがとても重要です。	(修正後) すべての子どもたちが自分らしく <u>幸せを感じながら</u> 成長でき、暮らせるように、社会全体で支えていくことがとても重要です。
● P.3 地域の支え合い推進プロジェクトについて、説明の中で「誰一人取り残さない」という言葉が出ていた。このフレーズは大事な言葉なので、本文の中にも入れた方がよいのではないのか。	→ 地域の支え合い推進プロジェクトの本文中の「すべての人が一人ひとり違った個性や能力を持つ個人として尊重され、自分らしく生きることができ、能力を発揮して参画・活躍できる」は、「誰一人取り残さない」をイメージしたものです。 すべての分野の取組は、「誰一人取り残さない」を理念としたSDGsの視点を踏まえて進めているため、「地域の支え合い推進プロジェクト」のみに「誰一人取り残さない」というフレーズを入れることで、他のプロジェクトにはその理念が含まれていないという誤解を招きかねないため、このままといたします。

主な意見	対応
● 新しく出た「健康日本21」の中で、「自然に健康になる」(個人が努力しなくても、住んでいるだけで自然と健康になれるような環境整備を社会・行政が行う)ということがキーワードになっている。本人が努力しなくても自然と健やかで幸せになれる環境を整えるのは行政の仕事だと思うので、「そういう環境をつくって誰も取り残さない」というようなことが入らないか。	→ 御意見いただきました内容については、「健康くさつ21」において施策に位置付け、分野横断的に取組を進めてまいります。 <健康くさつ21> ・基本的な方向2 「健康を支え守るための地域の絆による社会づくり」 ・施策4 「自然に健康になれる環境づくりと健康増進に向けた基盤の整備」
● 「「丸ごと」つながる」という言葉に違和感を持った。健康推進員として活動しているが、「健康の“わ”」「地域の“わ”」という言葉を我々はよく使う。「丸ごと」ではなくもっと優しい言葉を使ってほしい。	→ 「「丸ごと」つながる」は、地域共生社会にかかる厚生労働省の「我が事・丸ごと」というフレーズから引用しているため、このままといたします。
● P.4 にぎわい・再生プロジェクトの3行目「公共交通ネットワークの形成などにより市内の交通渋滞の緩和を図るなど」とあるが、公共交通ネットワークを形成しても、市内の交通渋滞の緩和には、直接はつながらない。渋滞の緩和には、道路ネットワークの充実と公共交通ネットワークの形成の2つがある必要がある。 また、文章を2つに分けた方が良い。	→ 御意見を踏まえ、次のように修正しました。
(修正前) 多様で魅力ある企業の集積を促進することで、若者の市外への流出を防ぎ、市外からの流入増加を図るとともに、まち全体に公共交通ネットワークを形成するなどにより、市内の交通渋滞の緩和を図るなど、まちの魅力を向上させ、	(修正後) 多様で魅力ある企業の集積を促進することで、若者の市外への流出を防ぎ、市外からの流入増加を図ります。<u>併せて、道路ネットワークの充実を図るとともに、まち全体に公共交通ネットワークを形成し、市内の交通渋滞の緩和を図るなど、まちの魅力を向上させ、</u>